

「思い返せば、私がカリフォルニア工科大学の2年生の時に、かのインテルを創ったゴードン・ムーアが先輩としていた。ムーア氏は、これから新しいベンチャーを創るという意気込みを語っていた。200人で会社を創ることを誇りにしていた。そしてインテルができた。カリフォルニア工科大学の卒業生が集まって作ったのが、いまや半導体業界の世界チャンピオンに輝くインテルなのである」(萩原氏)

いまでも熱く語る萩原氏の脳裏にはまだまだ新しいアイデアがあるという。それは例えば「プロセッサ搭載のCMOSイメージセンサー」「可視光に頼らないCMOSイメージセンサー」「X線を検知するCMOSイメージセンサー」「太陽光に豊富な短波長紫外線を非常に効率よく電気エネルギーに変換する、超短波長光感度の太陽電池」などであり、これを開発できれば、それは素晴らしいことだと机を叩いて言う。今こそソニーは、あの死に物狂いの開発で、夢の製品、夢の工場を創ったころの原点に戻るべし、という萩原氏の指摘は、正論を得ているのかもしれない。

鉄腕アトムを創りたいという一心で、ソニーに入社した萩原氏の遥かなる夢の舞台はまだ終わらない。

■泉谷 渉(いずみや わたる)略歴

神奈川県横浜市出身。中央大学法学部政治学科卒業。35年以上にわたって第一線を走ってきた国内最古参の半導体記者であり、現在は産業タイムズ社 社長。著書には『自動車世界戦争』、『日・米・中IoT最終戦争』、(以上、東洋経済新報社)、『これが半導体の全貌だ』(かんき出版)、『心から感動する会社』(亜紀書房)、『君はニッポン100年企業の底力を見たか!!』(産業タイムズ社)など27冊がある。一般社団法人日本電子デバイス産業協会 理事 副会長。全国各地を講演と取材で飛びまわる毎日が続く。

① 企業が振り返るべき3つの点
安全性を高めるための解決!

連載バックナンバー

- 第526回 ムーアの法則は決して死ぬことはないのだ!
- 第525回 熊本県下の新工場ラッシュはもはやとどまるところを知らない!
- 第524回 東日本大震災メモリアル3月11日に仙台に出かけて感じたこと!!
- 第523回 FLOSFIAは酸化ガリウム、パワーデバイスで先行する
- 第522回 ソニーはイメージセンサーの投資拡大、ジャパンセミコンも増強気運